

# JIS

## 製品の幾何特性仕様（GPS） — 寸法及び公差の表示方式 — 円すい

JIS B 0028 : 2017

(ISO 3040 : 2009)

(JSA)

平成 29 年 2 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	東京大学
(委員)	會 川 義 寛	お茶の水女子大学名誉教授
	阿 部 隆	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	伊 藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
	宇 治 公 隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	奥 田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	金 丸 淳 子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌 田 実	東京大学
	河 村 真紀子	主婦連合会
	甲 田 英 一	インペリアルタワークリニック
	神 山 宣 彦	元東洋大学
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	高 田 祥 三	早稲田大学
	高 増 潔	東京大学
	千 葉 光 一	関西学院大学
	内 藤 政 彦	一般社団法人日本自動車工業会
	長 井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	夏 目 智 子	全国地域婦人団体連絡協議会
	奈 良 広 一	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	西 江 勇 二	公益財団法人鉄道総合技術研究所
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
	楨 徹 雄	東京都市大学
	三 谷 泰 久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 12.3.20 改正：平成 29.2.20

官 報 公 示：平成 29.2.20

原 案 作 成 者：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 円すいの図記号	2
5 円すいの寸法表示方式	3
5.1 円すいの特性	3
5.2 テーパ比の図示方法	4
5.3 特定用途の円すいの図示方法	5
6 円すいの公差表示方式	5
6.1 一般	5
6.2 テーパ角度を指示した円すいの公差表示方式	5
6.3 テーパ比を指示した円すいの公差表示方式	6
6.4 テーパ比と円すいの軸方向位置における直径とを同時に指示する円すいの公差域	7
6.5 データムと関連付けた円すいの公差表示方式	8
附属書 A (参考) 旧規格・JIS B 0028:2000 における方法—軸方向位置に公差を与えた円すいの 公差表示方式	9
附属書 B (参考) GPS マトリックスモデル	10
参考文献	12
解 説	13

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS B 0028:2000** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 製品の幾何特性仕様 (GPS) — 寸法及び公差の表示方式—円すい

## Geometrical product specifications (GPS)— Dimensioning and tolerancing—Cones

### 序文

この規格は、2009年に第3版として発行されたISO 3040を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

この規格は、製品の幾何特性仕様 (GPS) の規格であり、GPS 基本規格 (ISO/TR 14638:1995 参照) として取り扱う。この規格は、角度に関する規格チェーンのリンク番号1及びリンク番号2 (附属書 B を参照) に関係する。この規格と GPS マトリックスモデル及び他の規格との関係の詳細を、附属書 B に示す。

この規格では、説明を図示するために例図を描いているが、実際の設計用の図ではないことに注意が必要である。説明のための例図であるという理由から、図は単純化されており、正確な縮尺でもない。

### 1 適用範囲

この規格は、円すいを定義し、その図記号、寸法表示方式及び公差表示方式について規定する。

この規格では、用語“円すい”は、端面と軸線とが直角に交わる“直円すい”に限定する。

**注記 1** 単純化のために、この規格では円すい台 (JIS B 0154 参照) だけを示している。ただし、この規格は、適用範囲内の全ての円すいにも適用できる。

**注記 2** この規格は、他の寸法表示方式及び公差表示方式の使用を妨げるものではない。

**注記 3** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

**ISO 3040:2009, Geometrical product specifications (GPS)—Dimensioning and tolerancing—Cones (IDT)**

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“一致している”ことを示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版 (追補を含む。) は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版 (追補を含む。) を適用する。

**JIS B 0612:2002** 製品の幾何特性仕様 (GPS) —円すいのテーパ比及びテーパ角度の基準値

**注記** 対応国際規格: **ISO 1119:1998, Geometrical Product Specifications (GPS)—Series of conical tapers and taper angles**